

【当院における 2025 年度インフルエンザワクチン接種について】

* インフルエンザワクチン(不活化インフルエンザワクチン(従来の注射するワクチン))

接種年齢:

- ① 生後 6 か月～12 歳のかたは 2～4 週間の間隔をあけて 2 回接種
- ② 13 歳以上のかたは 1 回接種で終了
(12 歳までの方は 1 回目接種予約時、2 週間以上あけたところでの 2 回目の予約も可能です)

* 経鼻弱毒生インフルエンザワクチン(フルミスト)に関連しての注意事項

- ・接種年齢:2 歳～18 歳 (当院での接種は小児科枠で中学生までとなります)
- ・病原体の毒性をよわめ製造された生ワクチンを各鼻腔に噴霧します。
- ・1 回の接種で終了となります。
- ・従来の不活化インフルエンザワクチンと経鼻弱毒生インフルエンザワクチンで、インフルエンザの予防効果に対する明確な優位差は確認されていません。
- ・生後 6 か月～2 歳未満、19 歳以上、気管支喘息のかた、免疫不全を有するかた、免疫抑制剤使用中のかた、アスピリン内服中のかた、無脾症、妊婦、ミトコンドリア脳筋症、ゼラチンアレルギーがあるかた、中枢神経系の解剖学的バリアー破綻があるかた、授乳婦、周囲に免疫不全患者がいるかたは不活化インフルエンザワクチンのみを推奨します。

参考文献:経鼻弱毒生インフルエンザワクチンの使用に関する考え方～医療機関の皆様へ～

日本小児科学会予防接種・感染症対策委員会 2024 年 9 月 2 日

https://www.jpeds.or.jp/uploads/files/20240909_keibi_i_vaccine.pdf